

中国語教育学会会報

第55号(通巻80号) 2019年9月1日発行

〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学 大学院総合国際学研究所

三宅登之研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第17回全国大会について
2. 2019年度第1回理事会報告
3. 2019年度会員総会報告
4. 『中国語教育』第18号の投稿募集について
5. 2019年度研究会開催報告
6. 事務局からのお知らせとお願い
 - 6.1. 会員動向・会費納入状況・会費納入のお願い
 - 6.2. 登録情報の変更について

1. 第17回全国大会について

中国語教育学会第17回全国大会が2019年6月1日(土)および2日(日)の両日、天理大学柚之内キャンパスにおいて開催されました。

初日午前中には第1回編集委員会、及び第1回理事会が開催されました。初日午後には大阪大学名誉教授の杉村博文氏による基調講演「中国語教員が知っておくべき中国語文法知識」が行われ、引き続き行われたシンポジウム「中国語ニーズを再考する—行政・市民・学校の視点から—」では、行政・市民・学校の各現場における中国語の位置づけ、また、そこで求められる中国語について具体的事例から検証し、今後の中国語教育の可能性を模索するためにそれぞれの立場から以下の4つの報告が行われました。

①インバウンド観光における中国語ニーズ(奈良県観光局コーディネイター・劉睦)

②外国籍市民が日本社会に求めるもの—中国語教育を必要とする子どもたち—(近畿大学・高橋朋子)

③府内高校生の訪日観光客への案内・通訳—大阪メトロでのボランティア活動—(大阪府立福井高等学校・須田美知子)

④社会貢献活動としての中国語教育—「中国語絵本読み聞かせ活動」の問題点から—(天理大学・中川裕三)

報告終了後、指定討論者である中村俊弘氏(関西外国語大学)と今井淳雄氏(天理大学)とモデレーターである清原文代氏(大阪府立大学)を交えて活発な意見交換が行われました。

また同時開催企画としてスタディツアーが開催され「天理図書館・天理参考館・天理大学 CALL システム」が見学希望者に開放されました。その後、会員総会と懇親会が開催されました。

2日目は5つの分科会に分かれ、午前午後合わせて14本の研究発表が行われ、いずれにおいても活発な議論が交わされました。

今回の大会には132名のご参加をいただき、懇親会には95名を超える方々が参加されました。また13の出版社・書店にご出店いただきました。

2. 2019年度第1回理事会報告

2.1. 日時・場所・出席者（敬称略）

日時：2019年6月1日（土）10:30-12:30

場所：天理大学 柚之内キャンパス4号棟2階42C

出席者：

三宅登之、郭春貴、平井和之、植村麻紀子、内田慶市、加藤晴子、清原文代、胡興智、佐々木勲人、鈴木慶夏、鈴木慎吾、陳淑梅、西香織、平山邦彦、藤井達也、丸尾誠（兼『中国語教育』18号(2019年度)編集委員会委員長）、村上公一、山田眞一

氷野善寛（デジタルリソース委員会委員長 兼 第17回全国大会(2019年度)準備委員会委員長代理）

伊藤大輔、李軼倫、渡邊奈津子（幹事）

2.2. 報告事項

2.2.1. 『中国語教育』18号（2019年度）編集委員会

『中国語教育』18号（2019年度）編集委員会の構成員が以下の通り決定したことが会長より報告された。

丸尾誠（委員長）、飯田真紀、町田茂、張恒悦、郭春貴、阿部慎太郎、安藤好恵、兪鳴蒙（敬称略）

2.2.2. 会員動向および会費納入状況

会員動向および会費納入状況について事務局より下記6.1の通り報告された。

2.2.3. 2018年度決算報告

2018年度決算報告が事務局より以下の通りなされた。

	収入		支出	
	2018年度予算	2018年度決算	2018年度予算	2018年度決算
会費	¥2,400,000	¥2,410,000		
事務委託費(郵送費を含む)			¥1,000,000	¥532,283
事務費(事務局)			¥60,000	¥22,194
郵送費(事務局)			¥15,000	¥11,466
振込手数料			¥10,000	¥8,574
会議費			¥50,000	¥49,215
旅費			¥400,000	¥477,791
全国大会開催費		¥238,710※1	¥400,000	¥400,000
研究会等開催費			¥100,000	¥11,306
会誌編集印刷費			¥500,000	¥628,560
会誌売上	¥50,000	¥96,750		
幹事手当			¥300,000	¥300,000
利子		¥42		
小計	¥2,450,000	¥2,745,502	¥2,835,000	¥2,441,389
前年度繰越金	¥5,656,773	¥5,656,773		
予備費/次年度繰越金			¥5,271,773	¥5,960,886
合計	¥8,106,773	¥8,402,275	¥8,106,773	¥8,402,275

※1 第16回全国大会の余剰金返金分。

2.2.4. 2019年度第1回編集委員会報告

『中国語教育』18号編集委員会より、同誌への投稿受付開始を昨年と同様に10月1日、投稿締切を10月21日12時とすること、および全国大会の登壇者へ原稿依頼をする予定であることが報告された。

2.2.5. デジタルリソース委員会報告

デジタルリソース委員会より、同委員会の活動について以下の報告がなされた。

外部団体等からの掲載依頼については、共催イベントである「外国語教員のためのICT無料ワークショップ」の情報を5月7日より8月31日まで掲載することになった。

学会ウェブサイトについては、全国大会および研究会の情報、『中国語教育』第17号のタイトル・要旨・キーワード、および編集委員会の新構成員を掲載し、また会報第53号を掲載した。

2.2.6. 今年度研究会開催予定

研究会担当理事より、今年度の第1回および第2回研究会がそれぞれ下記5.1および5.2の要領で開催予定である旨が報告された。また、第3回以降の研究会についても準備が進行中である旨が報告された。

2.2.7. 第18回（2020年度）全国大会について

会長より、第 18 回（2020 年度）全国大会開催校が以下の通り内定したことが報告された（敬称略）。大会準備委員については、現時点で半分程度決定していることも説明された。なお、第19回（2021年度）全国大会の開催校については未定で、現在交渉中であるということも補足された。

日時：2020年6月6日（土）・7日（日）（予定）

場所：大東文化大学板橋キャンパス（東京都板橋区高島平1-9-1）

大会準備委員長：山口直人

2.2.8. 2019年度第2回理事会開催日

2019 年度第 2 回理事会の開催日および場所が以下の通り決定したことが会長より報告された。また、それに先立つ同日午前 10:30-12:30 に第 2 回編集委員会が610教室で開催予定であることも付け加えられた。

日時：2019年12月1日（日）13:30-16:30

場所：早稲田大学早稲田キャンパス（東京都新宿区西早稲田1-6-1）16号館609教室

2.2.9. 対外交流の動きについて

2018年度第2回理事会以降現在までの対外交流の動きについて、事務局より以下の通り報告された。

（1）学会誌の寄贈について

①2019年3月下旬、韓国中国語教育学会（韓国）から雑誌が寄贈されてきた。

『中国語教育と研究』（第27、28号 2018年6月と12月発行）

②2019年4月中旬、世界華語文教育学会（台湾）から雑誌が寄贈されてきた。

『華語文教学研究』（第16巻第1期 2019年3月発行）

以上の両学会に御礼の返信をし、2018年度第2回理事会での決定事項に基づき、4月下旬に本学会より『中国語教育』（第15号・第16号・第17号）を寄贈した。なお、同時期に国立国会図書館に『中国語教育』（第17号）を2部納本した。

（2）学会間の交流について

①2019年1月下旬、韓国中国語教育学会から、2020年秋の学会への招聘の打診があった（本学会から2～3名程度）。これに対し、感謝の意を伝えた上、理事会で協議してから回答すると返信した。

②2019年3月下旬、世界漢語教学学会（中国・北京）事務局長から新任の挨拶が届き、今後交流を深める希望が述べられていた。これに対し、本学会からも謝意を表し交流を深めたいとの返信を出した。

③2019年4月上旬、世界漢語教学学会から、中国語教育学会の会長に動画投稿（内容は、日本における中国語教育の発展動向、またはご本人の研究成果など）をしてほしいとの打診があった。これに対しては、動画の形式や締切りなどについて、具体的な説明がなかったので検討中で、まだ返信を出していない。

2.3. 審議事項

2.3.1. 2019年度予算案

事務局の提示する以下の 2019 年度予算案が審議の上承認され、会員総会の審議事項として提出することが決定された。

	収入	支出
前年度繰越金	¥5,960,886	
会費	¥2,400,000	
事務委託費(郵送費を含む)		¥1,100,000
事務費(事務局)		¥60,000
郵送費(事務局)		¥15,000
振込手数料		¥10,000
会議費		¥50,000
旅費		¥400,000
全国大会開催費		¥500,000
研究会等開催費		¥100,000
会誌編集印刷費		¥650,000
会誌売上	¥50,000	
幹事手当		¥330,000
小計		¥3,215,000
予備費/次年度繰越金		¥5,195,886
合計	¥8,410,886	¥8,410,886

2.3.2. 名誉会員について

審議の結果、大瀧幸子会員を名誉会員の候補として会員総会に推挙することが決定された。

2.3.3. 名誉会員に関する内規の改定について

審議の結果、名誉会員の条件の1つとして継続在籍期間が「15年以上」となっているのを「20年以上」に変更することが決議された。その理由としては、これまで本学会の歴史が比較的浅かったために名誉会員の条件として継続在籍期間を長く設定することを控えてきたが、本学会が2022年に創立20周年を迎えることを考慮するとそれを控える理由がなくなること、また創立20周年のタイミングで「20年以上」とすることは2017年に創立15周年を迎える際に「15年以上」に変更した経緯とも符合することが挙げられた。ただし、具体的な変更時期をいつにするかということ、および変更時期をいかに周知するかということについては、次回理事会に持ち越しとなった。

2.3.4. 会則の改定について

前回理事会では、除籍者が再入会する際に未納分の完納を義務付ける形に会則を改定することが決議された。これに関し、審議の結果下記の改定案が承認され、会員総会の審議事項として提出することが決定された。

現行の会則	改定案
<p>第5条（会費）</p> <p>本会の経費は会費および寄付金による。会費は個人、団体を問わず、年額5000円とする。会費は各年度初めに郵便振替によって納入する。2年間にわたり納入のない場合は、3年目に会員資格を失う。</p>	<p>第5条（会費）</p> <p>本会の経費は会費および寄付金による。会費は個人、団体を問わず、年額5000円とする。会費は各年度初めに郵便振替によって納入する。2年間にわたり納入のない場合は、3年目に会員資格を失い、除籍となる。この規定により除籍となった元会員が再入会を希望する場合は、未納分の会費を納入しなければならない。</p>

3. 2019年度会員総会報告

3.1. 日時・場所

日時：2019年6月1日（土）17:10-18:00

場所：天理大学柚之内キャンパス4号棟 4階44A

3.2. 審議事項

3.2.1. 2018年度決算報告

上記2.2.3の決算報告が審議にかけられ、適切なものとして承認された。

3.2.2. 2019年度予算

上記2.3.1の予算案が審議にかけられ、承認された。

3.2.3. 名誉会員の推薦

上記2.3.2で推挙された大瀧幸子会員を名誉会員とする案が審議にかけられ、承認された。

3.2.4. 会則の改定

上記2.3.4の会則改定案が審議にかけられ、承認された。

3.3. 報告事項

3.3.1. 会員動向、会費納入状況

会員動向および会費納入状況について下記6.1の通り報告された。

3.3.2. 編集委員会報告

上記2.2.4の内容が報告された。

3.3.3. デジタルリソース委員会報告

上記2.2.5の内容が報告された。

3.3.4. 2019年度研究会

上記2.2.6の内容が報告された。

3.3.5. 第18回（2020年度）全国大会

上記2.2.7の内容が報告された。

4. 『中国語教育』第18号の投稿募集について

『中国語教育』第18号の投稿受付期間は、2019年10月1日0:00から10月21日正午（日本時間）までです。

投稿は2019年9月30日までに2019年度までのすべての会費を納付済みの中国語教育学会会員に限ります。

投稿原稿の印刷原稿1部を、郵送または宅配便により中国語教育学会事務局（〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学 三宅登之研究室内）に送付してください。印刷原稿の提出期限は2019年10月21日（消印・受領印有効）とします。

あわせて印刷原稿と同じ内容のWordファイル及び投稿票を『中国語教育』第18号編集委員会 contrib@jacle.org 宛に10月21日正午（日本時間）までにメールの添付ファイルで提出してください。メールの遅配が生じた場合には、印刷原稿の消印・受付日によって判断します。

メール送信の際の件名と添付ファイルのファイル名は下記の通り指定されていますので、ご注意ください。

- ・メールの件名（Subject）は「中国語教育投稿原稿20XX（「20XX」は投稿時の西暦年）」とする。
- ・添付する原稿ファイルのファイル名は「中国語教育投稿原稿執筆者名.doc」または「中国語教育投稿原稿執筆者名.docx」とする（原稿の題目をファイル名にしないこと）。
- ・添付する投稿票ファイルのファイル名は「subform.doc」から「中国語教育投稿表執筆者名.doc」に変更すること。
- ・上記ファイル名中の執筆者名は、日本漢字、全角平仮名、全角片仮名、半角英字のいずれでも可。共著の場合は代表執筆者名とする。

近年、投稿規程や執筆要領に違反した投稿が増えています。投稿前には必ず最新の投稿規程と執筆要領を下記の学会Webページでご確認の上、学会が提供するテンプレートファイルを使用して原稿と投稿票を作成してお送りください。

<http://www.jacle.org/contribution/>

5. 2019年度研究会開催報告

5.1. 2019年度第1回研究会

日時：7月20日（土）13:00-17:00

場所：愛知大学名古屋キャンパス801教室

13:20-13:50 趣旨説明/授業に使う副教材について—現行教科書に追加できるものとは
中西千香（立命館大学）

13:50-14:20 中国語教師の「基礎」を考える

西村英希（香港科技大学）→ご都合により欠席

14:30-15:20 音声教育を支える知識、文法教育を支える文法観

丸尾誠（名古屋大学）

15:30-16:20 初級から中級へー語彙と文法のチェックポイント

荒川清秀（愛知大学）

16:30-16:50 質疑応答 全体討論

参加者数：計75名（うち会員39名、非会員36名）

5.2. 2019年度第2回研究会

日時：2019年7月27日（土）14:00-

場所：目白大学新宿キャンパス01300教室

学習者の意欲を引き出すルーブリックー高校、大学の実践からー

若森幸子（埼玉県立戸田翔陽高等学校・非）

日本中文系大學生台湾長期留學後的感想調査

樂大維（拓殖大学）

高校における中国語教育の一事例ー多様な生徒への教育の私案ー

仇曉芸（十文字学園女子大学）

参加者数：計29名

6. 事務局からのお知らせとお願い

6.1. 会員動向・会費納入状況・会費納入のお願い

6.1.1. 会員数

計478名（通常会員449名、名誉会員29名／個人会員460名、団体会員18名）※2019年5月20日現在

6.1.2. 新入会者

計13名

石田智裕（東京外国語大学・院）、尹得霞（東北大学教育学研究科先端教育研究実践センター）、王淑貞（株式会社法学館）、黄斌（早稲田大学地域・地域間研究機構）、胡良娜（東京外国語大学・院）、申慧敏（大阪大学・院）、単艾婷（九州大学・非）、褚玉玲（大阪市立大学・院）、鄭成（早稲田大学社会科学総合学術院）、中島一樹（北京大学对外漢語教育学院言語学及び応用言語学専攻・院）、永本智富（徳島文理大学・非）、刘温雯（関西外国語大学・院）、田村祐之（姫路獨協大学人間社会学群）※2018年11月29日-2019年5月20日。敬称略。

6.1.3. 会費納入状況

1,330,000円 ※2019年5月20日現在

会費未納の方はお早めに納入くださるようお願い申し上げます。特に4月に郵送した払込取扱票記載の金額が15,000円の方は、2019年9月30日までにご納入ください。2019年9月30日までに納入がない場合、会則第5条に基づき会員資格を失うこととなります。

また『中国語教育』第18号へのご投稿をお考えの方は、2019年9月30日までに2019年度までの会費を全て納入済みでないと投稿原稿が受理されませんのでご注意ください。

4月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用

して送金してください。

[口座記号-口座番号] 00110-1-191152 [加入者名] 中国語教育学会

6.2. 登録情報の変更について

学会登録情報（住所・所属・メールアドレス等）の変更を希望される方は、年会費の払込取扱票に変更内容を記載なさらず、学会サイトの「Web版会員名簿・変更手続き」にログインしてご自身で変更していただきますようお願いいたします。

なお、**本年度は理事選挙を控えております。本人確認のため、被選挙人名簿に被選挙人の所属を記載する必要がありますので、所属情報を最新のものに変更されていない会員の方はこの9月中に必ずご変更いただきますようお願い申し上げます。**